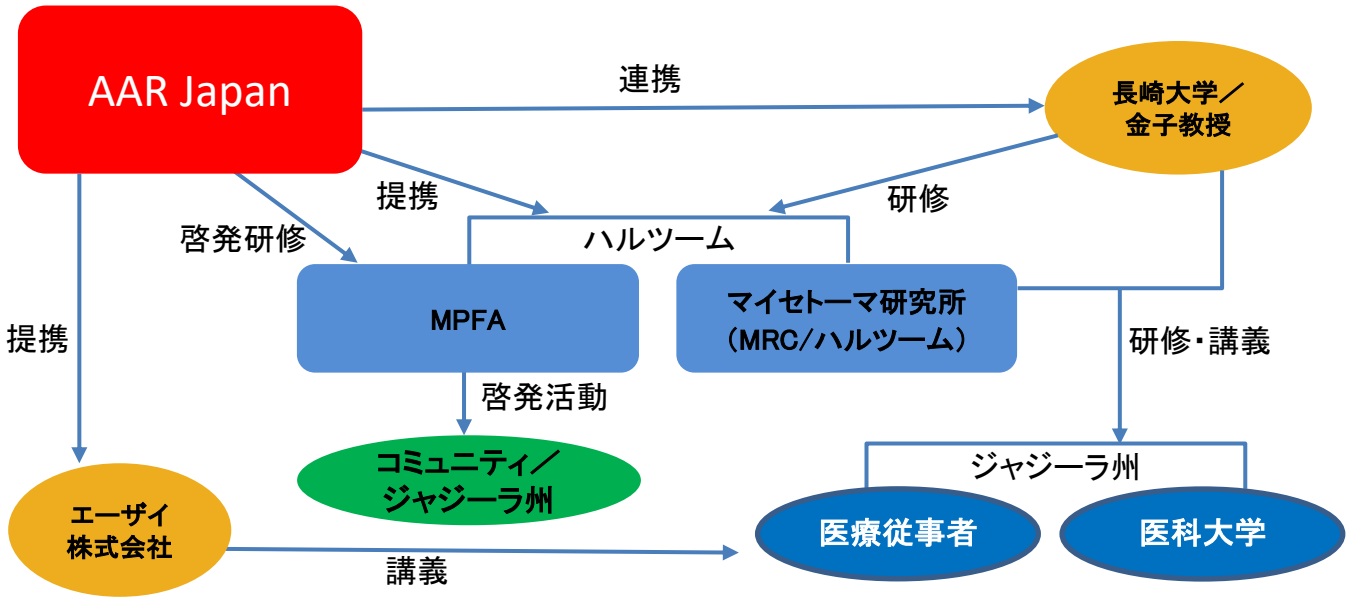
【別添4】事業概要のまとめ（日本語版）

作成日：令和4年4月27日

スーダンにおけるマイセトーマの対策能力強化と認知向上事業

- 背景：スーダンではマイセトーマの認知度が低く、診断が遅れ重症化する事例が多い。また、医療従事者の知識不足により適切な診断や治療が十分に行われていない。
- 事業目的：スーダンの医療従事者や患者支援団体の能力強化および高罹患地域での啓発活動を通じ、同国でのマイセトーマ認知を広め、治療提供体制を強化する。
- 事業の概要：ジャジーラ州の医療従事者と医科大学関係者を対象とした研修を実施し、長崎大学の金子教授とエーザイ株式会社、マイセトーマ研究所がマイセトーマの診断や治療法を指導するとともに、長崎大学での同感染症の授業等を紹介する。また、AAR Japanが患者支援団体（MPFA）に啓発研修を実施し、MPFAがコミュニティでの啓発活動を実施する。
- 期待される成果とその後の波及効果：当会がマイセトーマ研究所、長崎大学、エーザイ株式会社と協働してジャジーラ州の医科大学および医療従事者に研修を実施し、2023年2月までに研修参加者にマイセトーマの早期受診・治療に繋がる正しい知識が蓄積される。さらに、同研修の実績により、事業終了後にマイセトーマ研究所による他地方の医療従事者への知識の拡大が期待される。また、当会によるMPFAの組織強化により、2023年2月までに疾患啓発等マイセトーマ対策が継続して行われる体制が構築される。さらに、MPFAへの研修を通じ、事業終了後もMPFAが自立して啓発活動を継続していくことが期待される。



＜研修スケジュール予定＞

5月　オンライン研修（20名）
　最新の研究動向などに関する研修
6月、11月　オンライン研修（60名）
　ジャジーラ州医療従事者・医科大学講師・医学生を対象とした、診断や治療法に関する研修
6月7月9月12月　啓発研修（3名）
　マイセトーマの啓発活動のための研修
6月11月　ジャジーラ州での地域啓発（500人）
　MPFA職員による地域啓発活動